

よく耳にする合成界面活性剤だけど
種類で危険度が違うことを知っていましたか？



おふろのルック
(ライオン)

直鎖アルキルベンゼン
スルホン酸ナトリウム
は、現在使用されてい
る合成界面活性剤の
中で毒性がもっとも強
い。そのため、使って
はダメ。

界面活性剤 (5% 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸
ナトリウム)、泡調整剤、キレート剤

毒性が強く、人が誤飲すると、量
によっては死亡する可能性がある。
過去の動物実験では、催奇形
性 (胎児に障害をもたらす毒性)
を疑わせる結果が得られている



お風呂用洗剤



バスマジックリン
泡立ちスプレー (花王)

界面活性剤 (9% 脂肪酸アミドプロピルベタイン)、
泡調整剤、金属封鎖剤

これらには刺激性の心
配があるため、直接皮
膚や目に対する刺激
に付着しないように
注意

界面活性剤の一種。皮
膚や目に対する刺激
性が弱いのが特徴。また、
化学構造を見る限り、
環境汚染も起こしにく
いと考えられる



脂肪酸アミドプロピ
ルベタインは、皮膚
や目に対する刺激性
が弱い。また、化学
構造を見る限り、比
較的分解されやすい
と考えられるため、使
うなら、こっち。

お風呂用洗剤

お風呂の浴槽は湯垢が付きやすく、いったんついてしまうとなかなか落ちにくいものです。ですから、こまめに洗う必要があるのですが、ただスポンジでこすっていても重労働です。

そこで、お風呂用洗剤がよく使われるのですが、使う場合は、できるだけ皮膚に対して刺激性が弱く、環境汚染を引き起こしにくいものを選びたいものです。

ところが、【おふろのルック】に使われている直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（略称LAS）は、現在使用されている合成界面活性剤の中では、毒性がもつとも強いもので、人が誤飲すると、量によっては死亡する可能性があります。さらに、皮膚に対して刺激性があり、過去の動物実験では、さいきけいせい催奇形性（胎児に障害をもたらす毒性）を疑わせる結果が得られています。

また、分解されにくいため、河川や湖沼に流れ込んだ場合、水質汚染を引き起こしたり、魚やプランクトンなどにも悪影響をおよぼしたりする可能性があります。下水道に流れ込んで、下水処理場に行き着いた場合でも、汚染物質である有機物を分解する微生物の生息に悪影響をおよぼす心配があります。

したがって、LASをふくむ洗剤製品は、できるだけ使わない方がよいでしょう。

一方、【バスマジックリン 泡立ちスプレー】に使われている界面活性剤の脂肪酸アミドプロピルベタインは、皮膚や目に対する刺激性が弱いのが特徴です。

また、化学構造を見る限り、比較的分解されやすいと見られ、環境汚染も起こしにくいと考えられます。

ただし、ほかに泡調整剤や金属封鎖剤が使われているためか、液だれなどで手に付着すると、多少刺激を感じるので注意してください。

オールマイティー おふろ洗剤

(ミツエイ)

【おふろのルック】と同様、合成界面活性剤の直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩が使われている。これは、毒性が強く環境汚染を起こしやすい。

界面活性剤（5%直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩）、泡調整剤、キレート剤



お風呂用ティンクル

(大日本除虫菊)

酢酸は、お酢の成分であり、安全性は高い。また、界面活性剤のアルキルベタインは、皮膚や目に対して、低刺激性のものなのでOK。

酢酸（1.5%）、界面活性剤（アルキルベタイン）、キレート剤、溶剤



手荒れで困っている人は合成界面活性剤に注目!
入っていないものを選べば悩みが解消するかも!!



ジョイ
(P&G)

アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム以外に、2種類の合成界面活性剤がふくまれている。そのため、使わない方が無難。

界面活性剤 (32% アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム、アルキルアミノオキシド、ポリオキシエチレンアルキルエーテル)、安定化剤、粘度調整剤

合成界面活性剤のひとつ。
刺激性があり、肌がヒリヒリ傷んだりする



台所用洗剤



無添加 食器洗いせっけん
(ミヨシ石鹸)

純石けん分 (28% 脂肪酸カリウム)

皮膚に対する刺激が弱く、
毒性はほとんどなし

合成界面活性剤を使っておらず、成分は脂肪酸カリウムだけで作られている。手が荒れて困っているお母さんには、とくにオススメの製品。



台所用洗剤

「台所用洗剤を使うと手が荒れる」という人は多いと思います。そのため、ゴム手袋などをして、食器を洗っている人がほとんどなのではないでしょうか。

では、なぜ手が荒れるかということ、合成界面活性剤が、皮膚の細胞に作用して、たんぱく質を変性させるからなのです。そのため、刺激を感じたり、ヒリヒリ傷んだりするのです。

【ジヨイ】には、合成界面活性剤のアルキルエーテル硫酸エステルナトリウムのほかに、2種類の合成界面活性剤がふくまれています。

また、【ヤシノミ洗剤】にも、やはりアルキルエーテル硫酸エステルナトリウムがふくまれています。この製品は、ヤシの実を原料に作られ、「自然にやさしい」ことをうたっていますが、いくら原料に天然のものを使っているとしても、最終的に作られるものは、石油か

ら作られたものと変わらないということです。したがって、皮膚に對する影響も同じなのです。

一方、【キュキュット】の場合、「高級アルコール系（陰イオン）」となっています。これは、実際にはアルキルエーテル硫酸エステルナトリウムのことであり、【ジヨイ】や【ヤシノミ洗剤】と変わりません。

これらに對して、【無添加 食器洗いせっけん】の場合、合成界面活性剤が使われておらず、成分は「脂肪酸カリウム（カリ石けん）」のみです。脂肪酸カリウムは、油を構成する脂肪酸にカリウム（K）を結合させたもので、皮膚に對する刺激が弱く、毒性はほとんどありません。また、自然界でも分解されやすいため、河川や湖沼を汚染することが少ないのです。

「手が荒れて困る」と悩んでいる方は、それまでの台所用洗剤をやめて、一度【無添加 食器洗いせっけん】を使ってみることをオススメします。

キュキュット

(花王)

合成界面活性剤が4種類もふくまれているほか、除菌剤も入っているため、かなり手の皮膚に刺激を感じたり、痛みを覚える心配がある。

界面活性剤（43%、高級アルコール系（陰イオン）、アルキルヒドロキシスルホベタイン、アルキルグルコシド、アルキルグリセリルエーテル）、安定剤、除菌剤



ヤシノミ洗剤

(サラヤ)

原料は天然由来でも、ふくまれているのは合成界面活性剤のアルキルエーテル硫酸エステルナトリウムなので、皮膚に刺激を覚える心配あり。

界面活性剤（20%、アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム、アルキルベタイン）、安定剤



イヤな汚れをスッキリきれいに!
安心して使えるキッチン用洗剤は、どれ?



ジフクリームクレンザー
(ユニリーバ・ジャパン)

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩は、現在使用されている合成界面活性剤の中で毒性がもっとも強い。そのため、避けた方が無難といえる。

けんま剤 (20%)、界面活性剤 (9% 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩)、泡調整剤、分散剤

毒性が強く、人が誤って飲んでしまうと、量によっては死亡する可能性もある



キッチン用洗剤



水回り用ティンクル
(大日本除虫菊)

酢酸 (1.5%)、界面活性剤 (アルキルベタイン)、キレート剤、溶剤

皮膚や目に対して低刺激性の界面活性剤。また、環境への負荷も少ないと考えられる



お酢の成分である酢酸は安全性に問題なし。界面活性剤・アルキルベタインも、皮膚や目に対して、低刺激性のものなのでOK。

キッチン用洗剤

キッチンの流し台や蛇口、三角コーナーなどの汚れを落とすのはなかなか手間がかかります。

そこで、それらの汚れを落とす洗剤として売られているのがクレンザーで、その代表格が【ジフクリームクレンザー】です。

ただし、オススメすることはできません。なぜなら、研磨剤のほかに合成界面活性剤の直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩が入っているからです。

前にも述べたように、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩（略称LAS）は、現在使用されている合成界面活性剤の中で、毒性がもっとも強いものです。そのため、子どもなどが誤って飲んでしまうと、量によっては死亡する心配があります。

さらに、過去の動物実験では、催奇形性（さいきけいせい）（胎児に障害をもたらす

毒性）を疑わせる結果が得られています。

また、下水道のない地域では、河川や湖沼に直接流れ込んだ場合、分解されにくいいため、水質汚染を引き起こす可能性があります。

さらに、下水道のある地域でも、下水を通過して下水処理場に行き着いた場合、下水を浄化する役目を果たしている微生物の生息に悪影響をおよぼすことが考えられます。ですから、LASをふくむ洗剤製品は、できるだけ使わないようにしてください。

一方、【水回り用ティンクル】に使われている酢酸は、ご承知のようにお酢の成分です。お酢には殺菌力がありますが、これは酢酸の作用によるものです。酢酸は、私たちが日頃から摂取している物質なので、安全性は高いといえます。

また、界面活性剤のアルキルベタインは、皮膚や目に対して、低刺激性であることがわかっています。その化学構造を見てみると、分解されやすいと考えられ、河川や湖沼への影響も少ないといえるでしょう。

ニューホーミングクレンザー

(花王)

この製品にも、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩が使われている。手荒れを起し、環境への悪影響なども考えられるのでオススメできない。

研磨剤 (91%)、界面活性剤 (5%直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩)、安定化剤



「清潔なキッチン」だけでなく、
「安全な暮らし」も大切じゃありませんか？



キッチン泡ハイター
(花王)

次亜塩素酸ナトリウムや水酸化ナトリウムなど、危険な成分がふくまれている製品。体に悪影響があるかもしれないので、こっちはダメ。

次亜塩素酸ナトリウム (塩素系)、界面活性剤 (アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム)、水酸化ナトリウム

強い毒性があり、水で薄めてあっても、手についたり、目に入ったりすると、激しい痛みをとまなう

目に入ると、角膜が溶ける心配がある



キッチン除菌剤



フマキラー キッチン用アルコール除菌 (フマキラー)

発酵エタノール、グレープフルーツ種子抽出物、緑茶抽出物

ビールや日本酒などにもふくまれている成分で、問題なし



主成分の発酵エタノールも、そのほかの成分も天然のものだから、安心して使うことができる。そのため、使うなら、こっち。

キッチン除菌剤

【キッチン泡ハイター】のボトルには、「まぜるな危険」と黄色と赤の文字で大きく書かれています。酸性の洗浄剤と一緒に(混ぜて)使うと、猛毒の塩素ガスが発生するからです。すなわち、【キッチン泡ハイター】の主成分である次亜塩素酸ナトリウムが、塩酸などの酸性の成分と混ぜると、化学反応を起こして塩素ガスが発生させるのです。

過去には、徳島県や長野県などで、実際に塩素ガスが発生して、死亡事故にいたったケースもあります。

それらの事件後、「まぜるな危険」と大きく表示されるようになり、塩素ガスが発生するケースはほとんどなくなったようです。でも、【キッチン泡ハイター】は、混ぜなくても危険なのです。なぜなら、次亜塩素酸ナトリウム自体に強い毒性があるからです。

これまでの実験で、マウス(ハツカネズミ)に対して、体重1kgあたり次亜塩素酸ナトリウムを0・012g経口投与したところ、半数が死亡したというデータがあります。これから推定されるヒト致死量はわずか茶さじ一杯なのです。

【キッチン泡ハイター】の場合、水などで薄めてボトリングしていただきますから、毒性はずつと弱まっていますが、手についたり、目に入ったりすると、激しい痛みをとまいません(【キッチンブリーチ】の主成分も、次亜塩素酸ナトリウムなので、同様の危険性がある)。

また、水酸化ナトリウムも入っているため、目に入ると、角膜が溶ける心配があります。水酸化ナトリウムには、たんぱく質を溶かす作用があるからです。

一方、【フマキラーキッチン用アルコール除菌】の場合、主成分は発酵エタノールであり、これはビールや日本酒などにもふくまれているので問題はありません。その他の成分も天然のものなので、安心して使うことができます。

キッチンハイター

(花王)

成分は、【キッチン泡ハイター】と同じであり、同様に「まぜるな危険」の文字がある。混ぜなくても危険性が高いので、使ってはダメ。

次亜塩素酸ナトリウム(塩素系)、界面活性剤(アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム)、水酸化ナトリウム(アルカリ剤)



キッチンブリーチ

(カネヨ石鹼)

酸性の洗浄剤と混ぜると、猛毒の塩素ガスが発生する。ただ、混ぜなくても危険性は高く、目に入ると強い痛みをとまない、傷つける心配がある。

次亜塩素酸ナトリウム(塩素系)、界面活性剤(アルキルアミノオキシド)、アルカリ剤

